

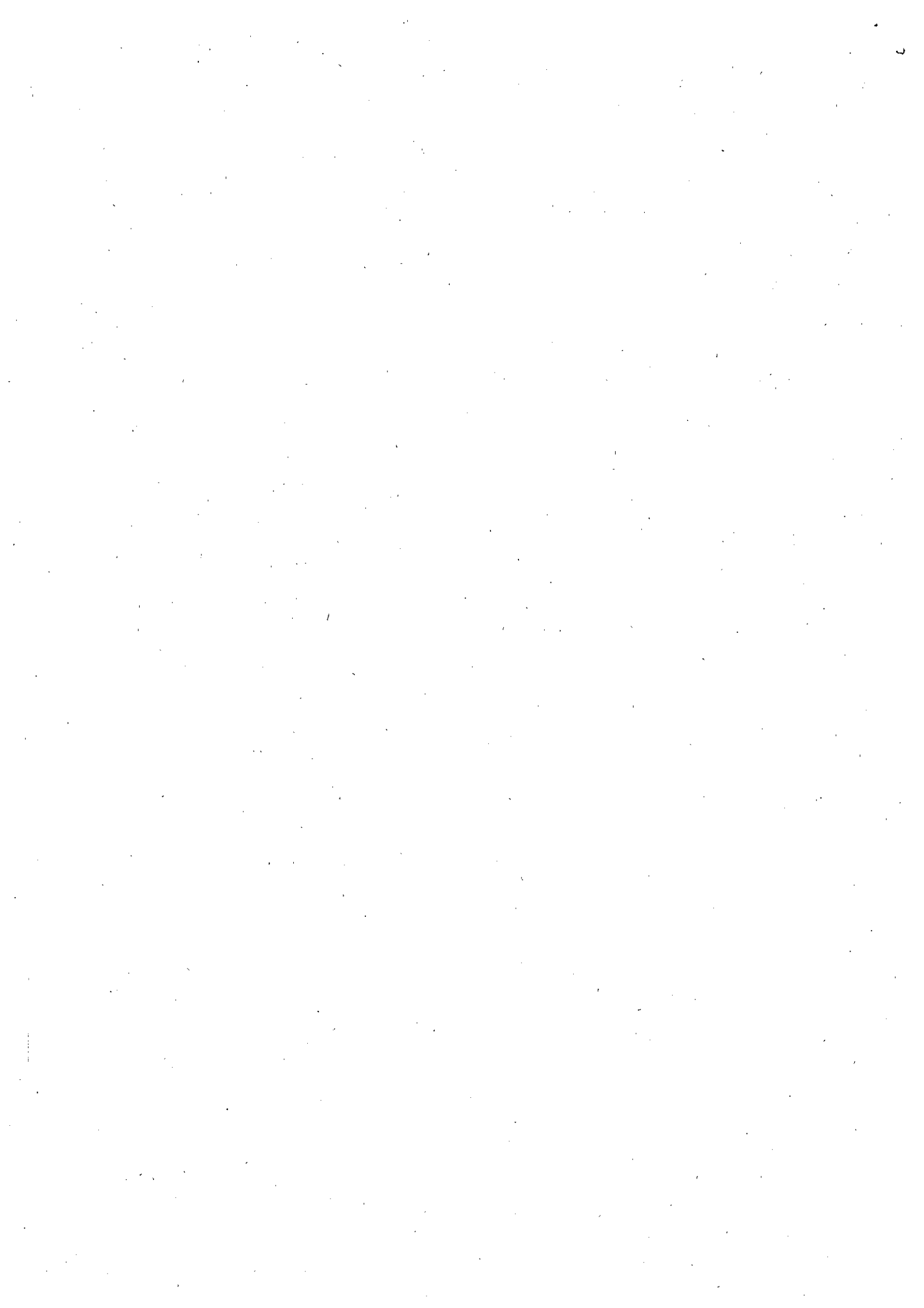
所 管 事 項 調 査

< 目 次 >

- | | | | |
|---|-------------------------|-------|----|
| 1 | 長崎市第五次総合計画「前期基本計画」について | | P1 |
| | 長崎市第五次総合計画「前期基本計画」(最終案) | | 別冊 |

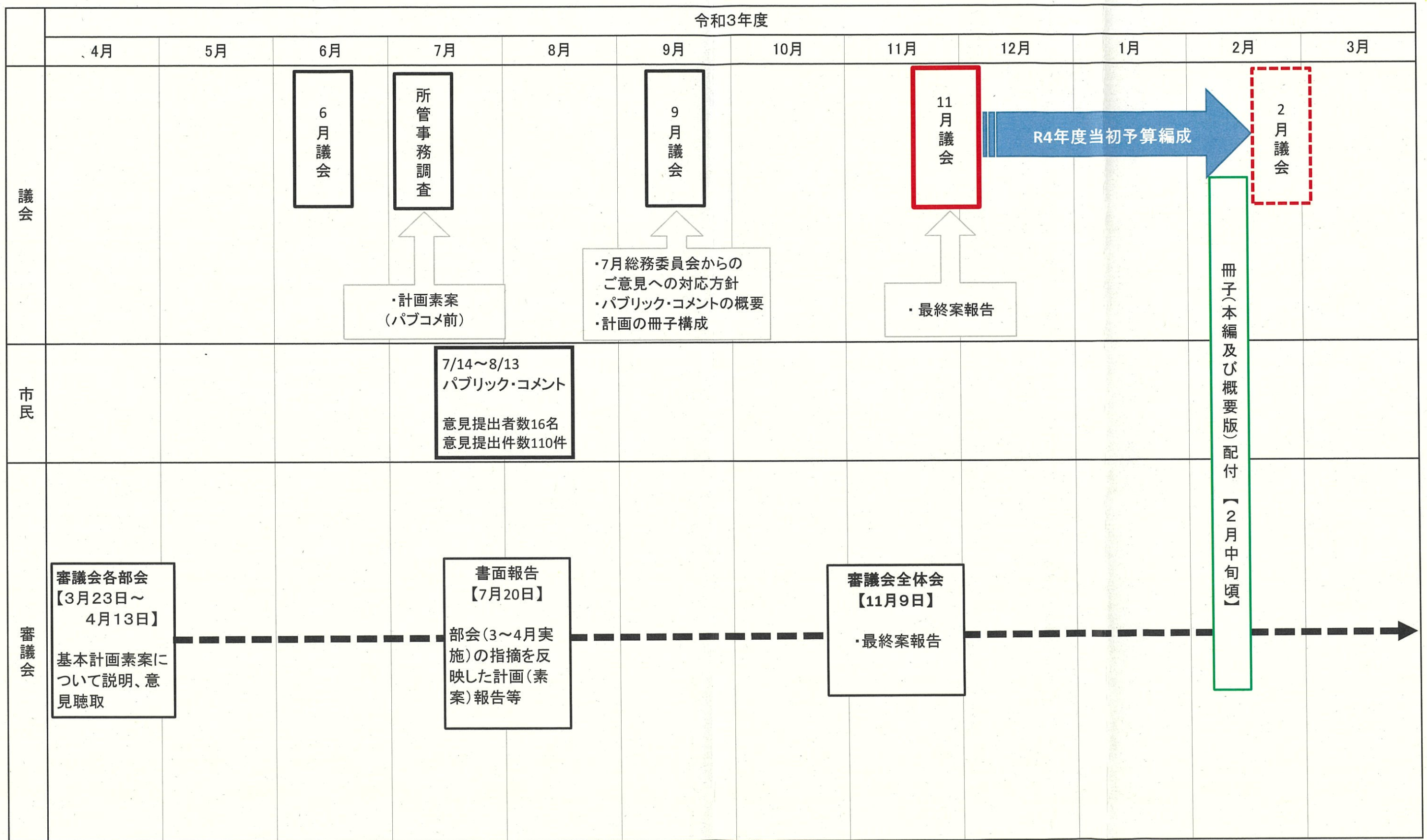
企画財政部

令和3年11月



1 長崎市第五次総合計画「前期基本計画」について

(1) 長崎市第五次総合計画「前期基本計画」の策定スケジュール



(2) 第五次総合計画「前期基本計画」等の主な修正内容

1 基本構想説明資料（令和3年2月議会資料）

まちづくりの方針のうち、【関連する外部環境】の記載内容を、基本構想が議決された令和3年3月時点の内容に修正

(1) まちづくりの方針B

「平和を愛し、平和の文化を育むまち」（別冊P23）

（変更前）核兵器の保有や使用を全面的に禁じ、核兵器のない世界をめざす核兵器禁止条約は、2020年10月、批准国が50か国となり、2021年1月の発行が確実となったが、核保有国・核の傘の下にいる国々は批准していない。

（変更後）2021年1月、人類史上初めて「全面的に核兵器は違法」と明記した国際法である「核兵器禁止条約」が発効したものの、核保有国・核の傘の下にいる国々は批准していない。

(2) まちづくりの方針H

「参画と協同によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」（別冊P40）

（変更前）令和2年度末の普通国債残高は約932兆円にも上ると見込まれている。

（変更後）令和2年度末の普通国債残高は約946兆6,468億円にも上っている。

2 前期基本計画

(1) 令和3年7月所管事務調査における意見を踏まえ修正

F9-1 救急医療体制の充実を図ります（別冊P317）

（変更前）夜間救急センターの運営や病院群輪番制病院への支援を継続するなど、持続可能な救急医療提供体制を構築します。

（変更後）夜間救急センターの運営や病院群輪番制病院への支援を継続するとともに、長崎大学病院や二次救急医療を担う医療機関などと連携を図りながら、持続可能な救急医療提供体制を構築します。

H2-1 市民が主体的に参画するまちづくりを進めます（別冊P369）

（変更前）-

（変更後）話し合いの場の開催を通じた地域コミュニティ連絡協議会の設立支援によって、地域課題の把握や共有、まちづくりの担い手となる人材の掘り起こしにつながっている。

(2) 現状分析や取組方針を中心に抽象的になっている内容や市民の方に分かりづらいと思われる内容に具体的な情報や説明を補足

(例) C 1-1 地場事業者の経営力の強化を支援します (別冊 P105)

(変更前) 商店街の活動が低迷している。

(変更後) 経営者の高齢化や組合員数の減少等により、商店街の活動が低迷している。

(例) A 1-3 地域の景観や自然などの個性を守り、みがき、活かします (別冊 P57)

(変更前) 大規模建築物や工作物がながさきデザイン会議により良好なまちなみ形成に繋がっている。

(変更後) ながさきデザイン会議のアドバイスにより、大規模建築物や工作物のデザインが向上し、良好なまちなみ形成につながっている。

(3) 成果指標の見直し

施策の進捗度合いを測るよりよい指標を検討した結果、成果指標の追加や変更などの見直しを実施

ア 新たに成果指標を追加したもの

① C 5-1 新たな販路拡大や消費拡大を図ります (別冊 P144)

「長崎の魚」の観光客認知度

【理由】本施策において、さしみという食べ方に着目した「さしみシティ」を掲げたPRを実施することとしているが、成果指標に魚に関するものがなかったため追加するもの。

② E 6-1 良好な道路ネットワークを形成します (別冊 P218)

補助幹線道路の進捗率

【理由】良好な道路ネットワークの形成について、市全体の進捗を図る指標が不足していたことから追加するもの。

イ 成果指標を削除したもの

B 3-2 若い世代を中心に平和の輪を広げます (別冊 P100)

海外に向けて被爆の実相を伝えるための活動に参加した高校生の人数〔累計〕

【理由】海外との交流事業として実施していたハワイ交流事業を今後も継続できるか未定であり、継続的に成果を測る指標としては適当でないと判断し削除するもの。

ウ 成果指標を変更したもの

G 1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します (別冊 P336)

変更前：民間プール等の受入規模に対する充足割合

変更後：市立小中学校における長寿命化改良事業及び改築事業の実施校数〔累計〕

市立小中学校における大規模改造等実施校数〔累計〕

【理由】子どもが安全・安心な環境で学んでいることを測る指標として、より適切な指標であると考えたため。

(4) SDGsの見直し（別冊P391～392）

各施策間で、SDGsを関連付ける考え方が大きく異なっていないか、あきらかに関連が深いゴールがもれていないかといった視点で確認した結果、一部の追加、削除を実施。

①追加したもの

基本施策	追加したSDGs
C3 「次世代につながる農林業を育てます」	15 「陸の豊かさを守ろう」
C4 「水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします」	9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」
D1 「脱炭素社会の実現をめざします」	12 「つくる責任つかう責任」
D4 「環境意識・行動の定着を図ります」	12 「つくる責任つかう責任」
F3 「障害者が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めます」	1 「貧困をなくそう」
G1 「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」	10 「人や国の不平等をなくそう」

②削除したもの

基本施策	削除したSDGs
A2 「交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくりを進めます」	16 「平和と公正をすべての人に」
F5 「原爆被爆者の援護を充実します」	1 「貧困をなくそう」

なお、ゴールNo.17「パートナーシップで目標を達成しよう」については、第五次総合計画においても引き続き「まちづくりの基本姿勢」として「つながりと創造で新しい長崎へ」を掲げていることを踏まえ、基本施策の推進にあたっては市民・企業・行政等のパートナーシップが必要であるとの考えから、すべての基本施策に関連するSDGsとして位置付けた。